

令和 8 年 4 月 8 日  
厚木市報道資料

## 旬のトマトで食卓に彩りを 市内農家が保育園などに「厚木トマト」を贈呈

市園芸協会施設やさい部会が山口貴裕市長を訪問し、5月に最盛期を迎える「厚木トマト」をPR。市内保育園にもトマトを贈呈します。

### 1 日時

- (1) 市長訪問 令和8年4月15日(水) 15時～
- (2) 保育園への贈呈 令和8年4月17日(金) 11時～

### 2 場所

- (1) 本庁舎4階 秘書課・第二応接室
- (2) 妻田保育園(妻田西2-20-5)

### 3 概要

同部会の大貫浩一(おおぬき・こういち)部会長と西山賢一(にしやま・けんいち)副部会長が山口市長を訪問。厚木トマトを贈呈し、もぎたてのトマトとトマトの漬物を試食してもらいます。

「子どもたちに味を知ってもらいたい」と市内保育園にもトマトを贈呈。本年度は、妻田保育園へ約300個を届けます。

### 4 PRしたい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・市内で生産されるトマトは「厚木トマト」として、かながわブランドに登録されています。
- ・同部会に所属するトマト農家は13軒。栽培面積は約330アールで、年間約300トンを生産しています。
- ・主に栽培されている品種は「マイロック」。甘みと酸味のバランスが良く、しっかりとした食感が特長です。
- ・保育園への贈呈は平成19年から始め、今年で20回目となります。
- ・市民朝市や夕焼け市、JAあつぎ農産物直売所「夢未市」などで完熟した状態で販売し、地場消費の推進に取り組んでいます。

本資料の問い合わせ先

---

環境農政部 農業政策課

課長 梅澤 祐 電話 (046) 225-2806